

NO	演題等	講師等(敬称略)	年月日
101	備中地方の民話	岡山民俗学会名誉理事長 立石恵利	26.4.1
102	映像記録 美観地区界隈の祭礼	岡山商科大学非常勤講師 吉原睦	26.5.8
103	見学会研修会 金盛秀祐邸・歴史資料整備室・矢掛本陣石井家・福武家住宅	金盛氏・整備室職員・ボランティアガイド	26.6.5
104	岡田藩主の領内巡見と領民	歴史研究者 立石智章	26.6.12
105	故・和田精一氏の建築	(株)藤木工務店倉敷支店PM担当部長 笠木憲二	26.7.1
106	備中倉敷学 100回 記念講演会「絵図・写真でみる倉敷の歴史」	備中倉敷学顧問 山本太郎・吉原睦	26.9.11
107	奉仕の仕事 健康・無駄・真面目そして疲れない	倉敷ガラス 小谷真三	26.10.9
108	見学会研修会 文化財保護とこれからの倉敷	岡山理科大学教授 江面嗣人	26.11.13
109	水島地域の公署の歴史と再生に向けた取り組み	みずしま財団理事・研究員 塩飽敏史	26.12.11
110	真備の人物 荒木文十郎 他	倉敷市文化財保護課学芸員 藤原憲芳	27.1.8
111	戦国武将 荒木村重の真実	荒木村重研究者 竹本弘子	27.2.12
112	岡山のみちづくりの歴史	国土交通省国道事務所長 渡邊良一	27.3.12
113	井原ゆかりの先人	先人顕彰会井原幹事長 岡岡良仁	27.4.9
114	備中の近代絵画を中心に	倉敷市立美術館主幹 前田興	27.5.14
115	見学会研修会 井原市の史跡めぐり	先人顕彰会井原郷土史専門員 大島千鶴	27.5.29
116	浦辺鎮太郎の建築を通して 倉敷の黒と白・白と赤	瀬浦辺設計代表取締役 西村清晃	27.6.11
117	児島高徳と五流尊徳院	倉敷市歴史資料整備室 大島千鶴	27.7.9
118	10周年記念シンポジウム 備中倉敷の漢学―三島中洲と渋沢栄一	主催：公民館益財団法人渋沢栄一記念財団	27.9.10
119	若山牧水と岡山	吉備路文学館館長 遠藤堅三	27.10.15
120	見学会研修会 倉敷教会・若竹の園 倉敷に残した西村伊作の建築文化	一般建築士 中村隆二	27.11.12
121	林子一と維新の志士	歴史研究者 立石智章	27.12.10
122	倉敷の名代官	歴史研究者 山本太郎	28.1.14
123	北条早雲と井原の山城	岡山学院大学教授 尾崎聡	28.2.18
124	倉敷の水遣について	元倉敷市職員 小谷彌	28.3.10
125	モンテッルパの父 加賀尾秀忍	井原市教育委員会文化課主任学芸員 柳沢綾子	28.4.14
126	これまでなかった! 素の古墳群	総社市埋蔵文化財学習館館長 平井典子	28.5.12
127	見学会研修会 総社市素の古墳群及び史跡巡り	総社市文化課学芸員 村田晋	28.5.26
128	児島虎次郎と倉敷	大原美術館主任学芸員 吉川あゆみ	28.6.9
129	幕末明治の備前・備中の名士たち―三島・野崎・大原―	二松學舎大学文学部教授 牧角悦子	28.7.14
130	横溝正史と岡山	横溝正史研究者 網本善光	28.9.15
131	原澄治没後50年『敢えて天下の先と為らず 原 澄治の人生』出版記念シンポジウム	コーディネーター：森田恵子	28.10.13
132	見学会研修会 倉敷中央病院の見学(建物・絵画・民藝) 大原精想と倉敷中央病院	(有)UR設計相談役 辻野純徳	28.11.10
133	斎藤真一の世界	吉備路文学館 奥富紀子・倉敷市立美術館 佐々木千恵	28.12.8
134	社会貢献 大原家の人々	歴史研究者 山本太郎	29.1.12
135	岡山弁再発見!	岡山弁協会会長 青山融	29.2.9
136	鼎文 辻原 一二三 の師承と南宗画	南画臥遊会 門田栄二・南画家 二熊富士雄	29.3.9
137	良寛と子ども	児童文学者・現代詩人 川越文子	29.4.13
138	『中世荘園の世界Ⅱ』東寺領新見荘の生成と展開	兵庫県立大学大学院非常勤講師・筑波大学文学博士辰田芳雄	29.5.11
139	見学会研修会『新見荘の歴史』	兵庫県立大学大学院非常勤講師・筑波大学文学博士辰田芳雄	29.5.27
140	古墳時代から古代の備中東部地域	岡山理科大学教授 文学博士 亀田修一	29.6.8
141	岡山の謎・宇喜多直家・秀家を支えた重臣 明石掃部頭全登	岡山歴史研究会前会長 天野勝昭	29.7.13
142	備中の金属鉱山 帯江～吹屋	吉備国際大学准教授 産業考古学者 小西伸彦	29.9.14
143	妻と素隠居	日本郷土玩具館 大賀弘章	29.10.12
144	画聖雲舟と備中大月山重安寺	雲舟を語る会 大島千鶴	29.11.16
145	塩飽大工	塩飽大工顕彰会代表 三宅邦夫	29.12.14
146	倉敷村の鎮守	当会顧問 吉原睦	30.1.11
147	吉備津彦神の黙示録	岡山城天守閣展示物専門員 出宮徳尚	30.2.8
148	山田方谷と明治維新	岡山県立博物館総括学事・学芸課長事務取扱 竹原伸之	30.3.8
149	ゾウ山陽道を江戸へ歩く	元岡山県立記録資料館館長 在間宣久氏	30.4.12
150	激動の時代と犬養木堂の足跡	犬養木堂記念館館長 坂野忠司	30.5.10
151	見学会研修会 宝福寺・円通寺・蓮台寺を巡る		30.6.1
152	下津井と北前船	むかし下津井廻船問屋元館長 矢吹勝利	30.6.14
153	ビデオで見る倉敷の歴史	蔵おこし湧々副代表 大賀久正・大塚文子	30.9.13
154	池田綱政と後楽園	岡山人物銘々伝を語る会 杉嘉夫	30.10.11
155	画家児島虎次郎	大原美術館学芸課長 柳沢秀行	30.11.22
156	岡山の酒について～その歴史から～	岡山県立記録資料館館長 定兼学	30.12.13
157	倉敷の町と大橋家一族	備中倉敷学顧問 山本太郎	31.1.10
158	備中の植物	倉敷市立自然史博物館学芸員 狩山俊吾	30.2.14
159	阪谷朗徳と興譲館	雲舟を語る会顧問 大島千鶴	30.3.14
160	宿場町矢掛を歩く～矢掛の歴史と文化財～	矢掛町教育委員会 西野望	30.4.11
161	近世のダビンチ 小野光右衛門	金光図書館館長 金光英子	R1.5.9
162	活弁・映画『裏探偵雷也』『子宝騒動』	弁士 矢吹勝利・矢吹つみ	R1.6.13
163	見学会研修会 本島に塩飽大工の足跡を訪ねて	塩飽大工顕彰会代表 三宅邦夫	R1.6.20
164	伊能忠敬測量隊の足跡～備中地域を中心に～	ノートルダム清心女子大学教授 河合保生	R1.7.11
165	竹筒絵画の変革期～昭和10年代を中心にして～	笠岡市立竹筒美術館長 上園四郎	R1.9.12
166	明治150年に想う 神戸事件と瀬富三郎	岡山人物銘々伝を語る会 杉嘉夫	R1.10.10
167	古代のロマンス 黒媛伝説	前 吉備路文学館館長 遠藤堅三	R1.11.14
168	平野田中の生涯と芸術	井原市立田中美術館主任 青木寛明	R1.12.12
169	江戸時代初期の倉敷村	備中倉敷学顧問 山本太郎	R2.1.16
170	津山の洋学～宇田川家・異作家を中心に～	津山洋学資料館学芸員 田中典徳	R2.2.13
171	地域と共に100周年	倉敷中央病院特任理事 富田秀男	R5.9.14
172	古文書から見る倉敷村の古禄・井上家	備中倉敷学顧問 山本太郎	R5.10.12
173	岡崎嘉平太の生涯と功績	岡崎嘉平太記念館学芸員 初岡綾子	R5.11.16
174	鬼ノ城と桃太郎伝説	極楽寺住職 武田恭彰	R5.12.14
175	神社の『いろは』	鶴崎神社宮司 太田浩司	R6.1.11
176	梶原基治船長 ～露西亞小児団輸送大航海から学ぶ～	浅口市文化財保護委員 金光英子	R6.2.8
177	橋梁遺跡とその時代 ～なぜ橋梁遺跡は重要なのか～	岡山商科大学特任教授 福本明	R6.3.14
178	(岡山宗教散歩) 岡山の宗教と宗教学	岡山歴史研究会事務局長 山田良三	R6.4.11
179	岡山の酒～備中杜氏と備中の酒蔵を中心に～	日本酒きき酒師 市田真紀	R6.5.9
180	新1万円札に登場した渋沢栄一と岡山	芳井町まちづくり協議会「風を編む会」顧問 木村昌人	R6.6.13
181	見学会研修会：備中高梁城下町の散策 山田方谷記念館・松連寺・薬師院		R6.6.27
182	被災から6年 真備緊急治水プロジェクトの今	国交省岡山河川事務所流域治水課課長 高橋亮丞	R6.7.11
183	悲劇の道政使節正使池田長兵衛と井原 ～スフィンクスに立ったサムライ～	備中倉敷学顧問 大島千鶴	R6.9.12
184	吉備線120周年	総社市まちかど郷土館館長 浅野智英	R6.10.10
185	野鳥は環境のパロメーター (野鳥の住めない所に人は住めない)	倉敷野鳥の会顧問 笹田富夫	R6.11.21
186	倉敷の日本遺産について	倉敷市日本遺産推進室主幹 藤原憲芳	R6.12.12
187	福田新田開発と野崎武左衛門	備中倉敷学顧問 山本太郎	R7.1.9
188	備中高松城の水攻め	岡山市立操南公民館館長 高橋伸二	R7.2.13
189	備中兵乱～備中兵乱記を読み直す～	岡山県立博物館副館長 内池英樹	R7.3.13